

# 大江ふれあい祭り ☆第1回ボッチャ大会☆開催報告☆

～地域のさまざまな世代の方や障がい者施設の方達が交流しました～

大江地区で、10月21日に、大江ふれあい祭りが開催されました。毎年、その祭りの中で、体育館において、町会対抗のソフトバレー大会が行われていましたが、実行委員会のみなさんから「子どもも高齢者も世代を超えてみんなで取り組める競技にしたい」という声があがり、今年は「ボッチャ大会」を開催することになりました。

大江ふれあい協議会、大江連合振興町会、大江ふれあい祭り実行委員会が主催し、各振興町会、大江小学校、社会福祉法人 大阪府家内労働センター連合授産場の利用者の方々を初め、総勢30チームが参加しました。

審判も、天王寺区身体障害者団体協議会や地域の方、審判員養成講座を受講された方々が協力してくださいました。

地域のおまつりの中でボッチャをするのは初めての試みでしたが、総勢93名の方々が集まり、ボッチャを通して、子ども、高齢者、障がいのある方達の交流が深まりました。

決勝戦では、チーム寺町と大江小学校Tチーム(大江小学校の先生方のチーム)が勝ち残り、大熱戦を繰り広げ、優勝は大江小学校Tチームとなりました。

今回、大江地区のまつりの中で、このボッチャ大会が行われたことは、障がいの理解促進の観点からもとても意義のあることだったと思います。大会実施後にアンケートをとったところ、アンケートにご協力いただいた37人中24名の方が「障がいのある方と今後も交流したい」との結果が出ました。区社会福祉協議会は今後も地域と協働した取り組みを進め、障がいへの理解促進に取り組んでいきます。



※「ボッチャ」は、パラリンピック公式種目で、世代・障がいの有無に関わらず参加できるペタンクとカーリングを併せたような簡単で楽しいスポーツです。天王寺区地域福祉アクションプラン推進委員会第2部会障がい班では、「ボッチャ」を通して、地域の中で障がいのある方たちとのふれあいの輪を広げ、障がいへの理解促進に繋がるよう取り組みを進めています。